

2021 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022 年 4 月 15 日
- 事業名 : 富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト
- 資金分配団体 : 認定特定非営利活動法人富士山クラブ（甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム）
- 実行団体 : 特定非営利活動法人こどもの未来をかんがえる会

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
八ヶ岳山麓地域において、地域内経済循環を考え、未来のまちづくりを考える場づくりを地域の関係者の参画により地域の拠点において継続的に開催することで、地域の関係者のネットワーク化を図り、地域内経済循環の活性化のための行動を促していく。その一環として、富士見高校と連携をし、高校生の農村集落での学びの場づくりを行	ワークショップの開催数 町内で様々な協同プロジェクトが立ち上がる	ワークショップの開催数：9 回 (年 3 回程度) 協同プロジェクト数：5 つ	2024 年 3 月	① 開催回数：8 参考) 参加人数： 1) 住民主導のまちづくり (ゲスト：島根県 邑南町役場の田村課長) ：60 人 2) リビングラボって？ (太陽住建 河原勇輝さん) ：20 人	1

<p>い、高校生の参画による農村活性化の方策を検討する。リビングラボの拠点として、地域の飲食店や宿泊施設の活用に加え、遊休農地を活用した体験農園の創造など、富士見町らしさを活かしたリビングラボを創造する。(交流の場)</p> <p>1年目：富士見リビングラボの3年後の出口を見つける</p> <p>2年目：出口に向けて少し方向性を絞りつつ、具体的に検討、検証する</p> <p>3年目：出口づくりのためのフレームワークづくり</p>			<p>3) 大人のお話会 (境地区御柱大総大 平出裕一さん) : 5 人</p> <p>4) リビングラボ実践編 (太陽住建 河原勇輝さん) : 15 人</p> <p>5) 薬草お灸づくりワークショップ (富士見町 石川明子さん) : 5 人</p> <p>6) 薬草美容クリームづくりワークショップ (富士見町 石川明子さん) : 15 人</p> <p>7) 観光まちづくり (南伊豆暮らし図鑑 伊集院一徹さん) : 30 人</p> <p>8) ナショナルトラストとは? (日本ナショ</p>	
--	--	--	--	--

			<p>ナルトラスト協会事務局 局長 関さん) ：20人</p> <p>9) 竹林整備機の竹取 物語、Bamboo マイス ター 講座 (2 回 開 催) : 12人</p> <p>②協同プロジェクト 数 : 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士見高原味噌を救 う会 (富士見町味の 会、富士見まちづくり ラ ボ) ・バンブーマイスター 講座 (DEF、つくえラ ボ、富士見まちづくり ラ ボ) ・協同農園プロジェクト (細川農園、早川農 園、富士見まちづくり ラ ボ) ・宅配事業 (商工会、富士見まち
--	--	--	---

				づくりラボ)	
子ども・若者の居場所と創造的な学びの場づくりを継続的に開催する。また地域内の音楽、手芸等の多様な専門家等との交流を図り、子どもたちの自己肯定感を高める多様な学びを提供する場として発展させる。また子どもレストランなどの地域の社会を活性化する自立的な活動を展開する。	居場所の参加人数 子どもたちの多様な学びと育ちの場の実現	居場所の開催数：435回（月約15回以上×12カ月×2カ年、15回以上×5カ月×1カ年）	2024年3月	・2021年度は11月から開始。月、水、木、金の週4回開催。冬休み及び春休みは一部お休み。合計67回参加者が792人。春休み中は開催しても参加者が0であったため閉じることにした。休み期間中の居場所の在り方について検討が必要。	2
富士見町等八ヶ岳山麓地域において、人・もの・ことを発信するアプリを開発し、多くの商店や商品・サービスを提供している者、学びの場やワークショップなどを行っている団体や者の参画を得て、情報を発信するとともに、アプリを通じた地域内の関係者の出会いと協働を促すマッチングの場づくりを行う。また既存のECサイトの活用、	アプリを通じて情報発信・交流をする事業者、団体等の数	アプリに参加する事業者、団体数：100	2024年3月	2021年度はやつがたけの人・もの・ことを発信する「やつリンク」のアプリ開発を行った。2022年度からアプリに参加する事業者を募り、5月頃には一般公開する予定。既存のECサイト（つくつく）に「八ヶ岳ステーション」の店舗を立ち上げる準備を行った。	1

連携により地域内の流通の仕組みづくりと地域内産品、サービスの地域外利用を通じた地域内経済循環のベースを構築する。 (活躍の場)					

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
状況をプルダウンより選択してください▼計画より進んでいる
2.アウトカムの状況
A：変更項目 □変更なし ■短期アウトカムの内容 ■短期アウトカムの表現 ■短期アウトカムの指標 ■アウトカムの目標値
3.活動に関する報告
活動の進展に伴い、事業計画を付加する形で見直し、着実に活動は発展している。
6.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
ワークショップ等の学びの場づくりにあたってZoomを活用しオンラインで行った。また、大人数を集めてのプラットフォームづくりが困難であるため、事業計画を変更し、人・もの・ことをつなぐアプリ開発やECサイトの利用で行うこととし、非接触型で関係者をつなげ、地域経済循環を促す仕組みづくりを行うこととした。子供の居場所は、飲食をやめ感染対策を強化しながら開催を継続した。

③広報に関する報告

シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
- 報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
- 「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

広報

- 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
学びの場や活動については新聞で取り上げられている。
- 2.広報制作物等
学びの場のチラシ、アプリのチラシ等を作成した。
- 3.報告書等
パワーポイント資料で活動実績をわかりやすく整理した。
- 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）
学びの場で取り組みを発信している。

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。

- 完了 整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→ 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

2. 内部通報制度は整備されていますか。

はい いいえ

→ 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： 内部に窓口を設置 外部に窓口を設置 JANPIA の窓口を利用

3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）

内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない

→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）